

■藤原永手 公卿。<藤原四卿没>後も地位を保ち、<宇佐八幡神託>後に光仁天皇擁立、藤原氏復活の契機となった。

ふじわらのながて
日本書紀始・ 714＝

美努王の女無(牟)漏女王を母に、_北家藤原房前の第二子に生まれる。

藤原不比等をリーダーに、藤原氏が廟堂で勢力拡大をめざすなかに育ち、

藤原不比等没 720＝ 6歳：

三世一身法・ 723＝ 9歳：

長屋王の変・ 729＝15歳：

遣唐使9 ・ ・ 732＝18歳：

藤原四卿没・ 737＝23歳：_疫病流行で父ら多くの公卿が死去したため、従六位上から越階して従五位下に叙せられた。

国分寺建設詔 741＝27歳：

聖武天皇時代は第八束の後塵を拝していたが、

孝謙天皇・ ・ 749＝35歳：_孝謙天皇が即位し、東大寺に行幸して大仏を拝した日に、越階して従四位下を授けられ、
・ ・ ・ ・ ・ 750＝36歳：_従四位上に昇叙され、急速に昇進して行く。

大仏開眼・ ・ 752＝38歳：大倭守に任ぜられた。この年の新嘗祭の驛宴の時に応詔した歌1首が「万葉集」に載せられている。

鑑真来日・ ・ 754＝40歳：_従三位に越階昇叙、左京大夫兼侍従。太皇太后宮子が死去した際、造山司を務め、

聖武天皇没・ 756＝42歳：_聖武上皇死去に際には御装束司。参議を経ない初の権中納言に任ぜられて式部卿を兼ね、光明皇太后が故上皇の遺品等を東大寺に施入する際の「献物帳」に、仲麻呂とともに署名するなど、重用され、
橘奈良麻呂乱 757＝43歳：_皇太子道祖王が廃され、新たに皇太子を立てるに当って藤原豊成とともに塩焼王を推し、成らなかったが、参議を経ずに中納言に昇進した。その直後に発覚した橘奈良麻呂らの謀反事件では与党の勘問に当り、さらに連坐した藤原乙縄をその父豊成の第に臨んで召す任をも務める。

万葉集最終歌 759＝45歳：

光明皇后死・ 760＝46歳：_光明皇太后死去に際しても御装束司。

押勝暗殺計画 763＝49歳：武部(兵部)卿を兼ね、

惠美押勝の乱 764＝50歳：_藤原仲麻呂の乱では追討する側にあって正三位に昇叙、大納言に任ぜられた。

・ ・ ・ ・ ・ 765＝51歳：追討の論功で勲二等を賜わり、さらに従二位へ昇進。

道鏡法王・ ・ 766＝52歳：_右大臣に任ぜられ、その直後私邸に行幸があつて正二位に叙せられる。さらに、左大臣に任ぜられて廟堂首座の席に就いたが、法王となった道鏡が実権を握り、独自の政策を展開できなくなっていたところ、

・ ・ ・ ・ ・ 768＝54歳：

宇佐八幡神託 769＝55歳：私邸へ再度の行幸があり、従一位に叙せられる。_多くの公卿の意向反映した和氣清麻呂を介して宇佐八幡宮の神託が下つて、道鏡の野望は阻止され、

光仁天皇・ ・ 770＝56歳：_称徳天皇が病臥すると、近衛・外衛・左右兵衛のことを管轄するが、称徳が崩ずるや藤原良継・百川らと策して天智天皇の孫の白壁王(光仁天皇)を皇太子に立て、天武系から天智系への皇統交替に主導的役割を果たす。光仁天皇の即位により正一位に叙せられ、山城国相楽郡出水郷の山二百町を賜わつたが、

東大寺完成・ 771＝57歳：_突然病となり、没した。光仁は甚だこれを痛惜して太政大臣の位を賜わつた。